

古河市立小中学校適正規模・適正配置等審議会 第1回会議 議事録

日 時	令和4年6月28日(火) 午後2時から午後3時30分
場 所	古河市役所 古河庁舎3階 全員協議会室
出 席 者	<p>会長 馬渡 剛            副会長 大里 充孝    委員 小嶋 洋平          委員 小泉 俊行        委員 青木 加代子    委員 小川 久雄          委員 大川原 公雄      委員 梅津 信男      委員 羽兼 邦夫          委員 尾花 潔            委員 佐藤 隆之      委員 勝 文雄          委員 竹村 靖            委員 田神 昭</p>
欠 席 者	委員 青木 涉            委員 蛭田 裕            委員 岩渕 尚
事 務 局	<p>教育部          部長 田中 秀明        副部長 島村 光昭          教育総務課          課長 大澤 勝彦        課長補佐 磯 典子      係長 内田 哲</p>
議 題	<p>(1) 会議等の公開について          (2) 諮問の趣旨について              ～古河市立小中学校の現状と課題について(説明・質疑)～</p>
議 事	<p>(1) 会議等の公開について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会議については「原則公開」とする。ただし、やむを得ない事情として、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点や、委員のみでの審議が適切と判断される、いわゆる秘匿性の高い内容があった場合など、状況によっては会議を非公開とする。</li> <li>・会議の記録及び資料の公開について、会議の議案件名を整理した「会議の概要」と、会議での意見等を整理した「議事録」、会議で使用した「会議資料」を原則公開する。ただし、「議事録」は発言の要旨のみとし、委員の個人名は公表しない。また、「会議資料」のうち、公開することが適切でないと判断される資料については、非公開とすることができる。</li> </ul> <p><b>【主な意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし</li> </ul> <p>(2) 諮問の趣旨について              ～古河市立小中学校の現状と課題について～</p> <p><b>【主な意見】</b></p> <p>○学校全般について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古河市では、すべての児童生徒が同水準の教育を受けられることが必要である。不公平にならないように、教育の質についての議論が必要と考える。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校規模が過小、過大になりすぎるとデメリットが顕在化することになるので、学校の適正規模を担保することが、子ども達にとって大切なことである。</li> <li>・学校は単に授業を受けるだけではなく、社会性を学ぶ場ともなっている。6年間クラス替えがないことは、児童にどのような影響があるのだろうか。</li> <li>・学校規模による適正配置を進めると、長い通学距離を通う児童生徒がでてくると予見される。他県では、遠い学校に通う児童生徒にはスクールバスを活用した事例がある。</li> <li>・教職員不足の問題もあるし、教職員の質についても課題があるのではないか。</li> <li>・定員が30人くらいで授業が進められたら理想である。ただ、教職員の配置については法律で定められている。</li> </ul> <p>○複式学級について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複式学級を担当する教職員は、同じ授業時間で2学年分の授業を行うため、十分な力量が必要である。仮に複式学級を今後とも継続するのであれば、担当する教職員の育成をするべきである。</li> <li>・今ある複式学級は、教職員の力もあるのでうまくいっているのかもしれないが、今後、その保証はないのではないか。</li> <li>・複式学級のクラスでは、別の学年の児童と仲良くなれて、コミュニケーションの面では良いのではないか。</li> <li>・クラスに40人いる学級よりは、ある程度、余裕がある学級のほうが学級運営はしやすいのではないか。</li> <li>・小規模校にもメリット・デメリットがあると思う。メリットは、教職員が児童生徒をよく見ることができること。デメリットは学級編成がしづらいこと。不登校の児童生徒が増えていることもあるので、人間関係が固定化してしまい、環境を変えられないことが課題である。</li> </ul> <p>○地域・コミュニティ・行政の視点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後のことを考えると、心情的なもの、特に地域愛、学校愛なども大きな問題になってくるので、地元の人たちの声がこれから大切になる。</li> <li>・現在の学区は自治会、行政自治会の区域とほぼ一致しているので、地域のバランスを考える必要がある。</li> <li>・学校の管理に必要な人件費、施設の維持費用等も考慮する必要がある。</li> </ul>
備 考	